

98
10
11
12

果樹作を中心とした被覆不耕起栽培の評価

筑波大学大学院
農学研究科
農林学専攻

山岸 主門

寄	贈
山	書
岸	年
主	月
門	日
氏	

目次

第1章 緒言

1-1. 問題の所在	1
1) 農業評価の一面性	
2) 水田稲作への傾斜	
1-2. 研究の進め方・目的	4

第2章 代替農法としての「果樹作を中心とした被覆不耕起栽培」について

2-1. 代替農法の概要	7
1) 代替農法の歴史的背景および技術体系	
2) 実践農家の事例	
2-2. 「果樹作を中心とした被覆不耕起栽培」研究の基本構想	22
1) 自然開園・園内自給	
2) 強健な作物・品種の選択	
3) 作付順序・様式の多様化	
4) 被覆不耕起管理	
5) その他の個別技術	
2-3. 「果樹作を中心とした被覆不耕起栽培」の研究圃場の開設 およびその農生態的特徴	29
1) 筑波山腹圃場	
2) 筑波大学農林技術センター圃場	

第3章 被覆および耕うん法の相違が数種作物の生育量と収量および土壌の物理・化学性へ及ぼす影響	
3-1. まえがき	69
3-2. 試験方法	70
3-3. 結果および考察	73
1) ウメ・カキの地上部生育量	
2) ウメ・カキの地下部生育量	
3) ウメ・カキの収穫量	
4) 間作作物の地上部生育量	
5) 間作作物の地下部生育量	
6) 土壌硬度	
7) 土壌pH・EC	
8) 土壌の化学分析	
3-4. 要約	81
第4章 被覆・耕うん法の相違が雑草植生および土壌動物相へ及ぼす影響	
4-1. まえがき	98
4-2. 試験方法	99
4-3. 結果および考察	101
1) 雑草植生	
2) 土壌動物相	
4-4. 要約	109

第5章 総合考察	
5-1. まえがき	123
5-2. 小規模農業の適応への可能性	123
5-3. 各栽培技術との関係	125
1) 被覆不耕起栽培の技術体系	
2) 有機物・堆肥の施用	
3) 緑肥作物	
4) 作付体系	
5-4. 多様な生物相の形成	130
1) 雑草植生	
2) 各種動物相	
5-5. 今後の問題点と課題の整理	133
1) 果樹のもつ各種機能について	
2) 農地のもつ緑地機能の評価について	
3) 実践における問題点	
5-6. 「果樹作を中心とした被覆不耕起栽培」の実践への適用	136
付図・表	139
要約	145
謝辞	149
引用文献	150